

asciidoctor-diagram-cacoo-example

---

## Table of Contents

1. asciidoctor-diagram-cacoo-example .....	1
1.1. APIキーの設定 .....	1
1.2. VLゴシックフォントのインストール .....	1
1.3. AsciiDoc文書へのCacooの図の埋め込み .....	2
1.4. 実際の例 .....	2
1.5. Cacooの図の内容を取得して変更内容をバージョン管理する .....	3

---

## List of Figures

1.1. DiagramBlockProcessor class diagram .....	2
1.2. Source class diagram .....	3

---

# Chapter 1. asciidoctor-diagram-cacoo-example

asciidoctor-diagram-caooを使ってCacooの図を埋め込むサンプルです。

## 1.1. APIキーの設定

事前にCacooにログインしてアカウントの設定ページのAPIキータブでAPIキーを発行して、環境変数CACOO\_API\_KEYに設定しておいてください。

```
export CACOO_API_KEY=Your_Cacoo_API_Key_Here
```

[zimbatm/direnv](#)<sup>1</sup>をお使いの場合は、上記の内容を.envrcというファイルに保存しておいて、以下のコマンドを実行することで、.envrcのファイルが存在するディレクトリにcdしたら自動的に環境変数 CACOO\_API\_KEY が設定されます。

---

```
direnv allow .
```

---

direnvは [hnakamur/macbook\\_setup](#)<sup>2</sup>のプレーブックを使えば簡単にセットアップできます。

## 1.2. VLゴシックフォントのインストール

日本語フォントはVLゴシックフォントを使用しています。asciidoctor-fopubはGoogleのNoto Sans JapaneseのようなOpenTypeフォントはサポートしていないので、VLゴシックのようなTrueTypeフォントを使用する必要があります。

[VL Gothic Font Family](#)<sup>3</sup>のページからVLゴシックフォントをダウンロードしてインストールしておきます。

OS X上でAnsibleをお使いなら [hnakamur/osx\\_vlgothic\\_fonts-ansible\\_role](#)<sup>4</sup>というロールがあります。 [hnakamur/macbook\\_setup](#)<sup>5</sup>のプレーブックを使えば簡単にセットアップできます。

---

<sup>1</sup> <https://github.com/zimbatm/direnv>

<sup>2</sup> [https://github.com/hnakamur/macbook\\_setup](https://github.com/hnakamur/macbook_setup)

<sup>3</sup> <http://vlgothic.dicey.org/download.html>

<sup>4</sup> [https://github.com/hnakamur/osx\\_vlgothic\\_fonts-ansible\\_role](https://github.com/hnakamur/osx_vlgothic_fonts-ansible_role)

<sup>5</sup> [https://github.com/hnakamur/macbook\\_setup](https://github.com/hnakamur/macbook_setup)

### 1.3. AsciiDoc文書へのCacooの図の埋め込み

まずCacooのdiagramIdを知る必要があります。例えば図を表示するURLが <https://cacoo.com/diagrams/f0MLos8tgXXxaTBv> であれば、diagramIdは f0MLos8tgXXxaTBvとなります。

あとはAsciiDoc文書内で以下のように書けば、図を埋め込むことができます。

```
.....  
cacoo::f0MLos8tgXXxaTBv["png", alt="DiagramBlockProcessor class"]  
.....
```

### 1.4. 実際の例

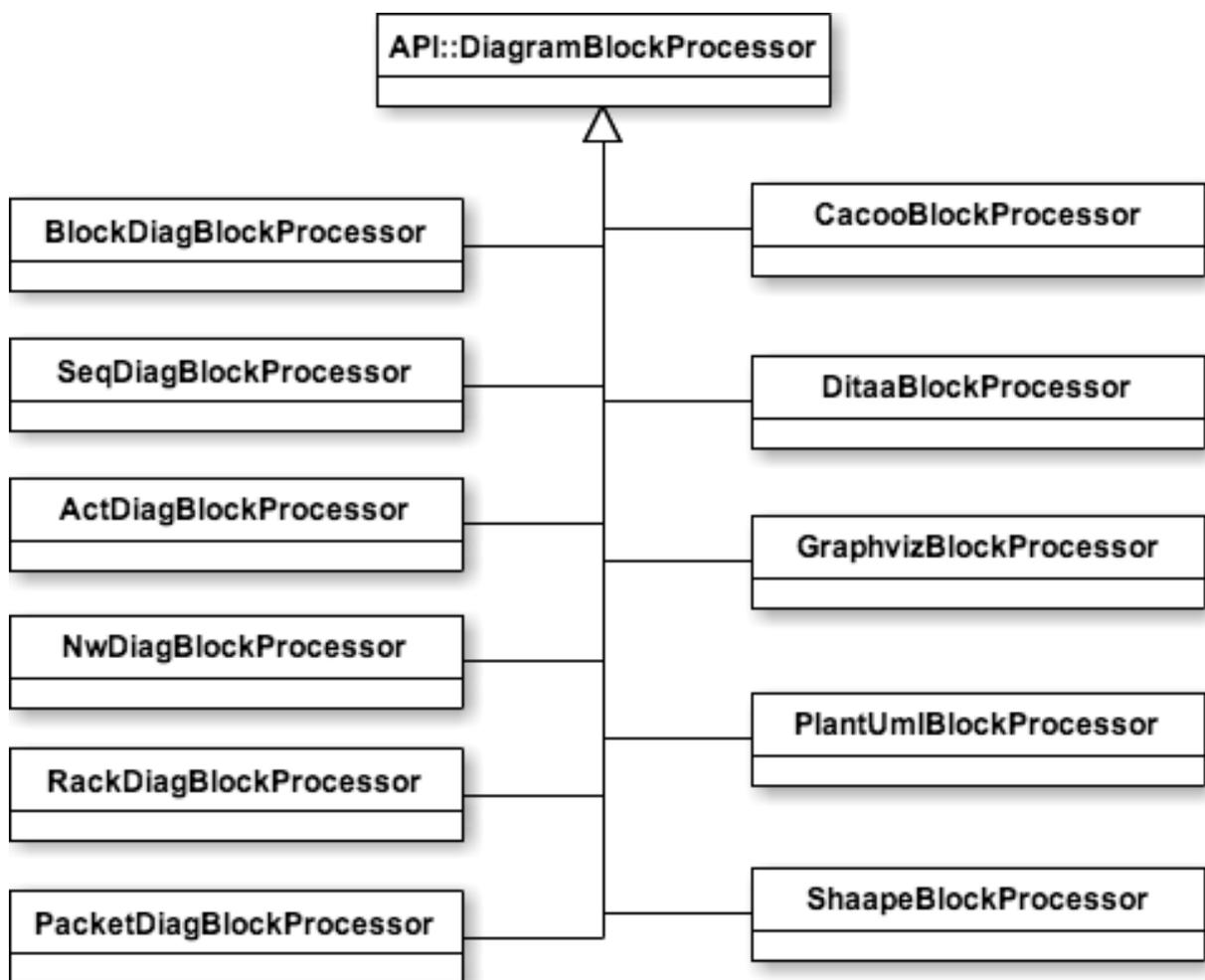


Figure 1.1. DiagramBlockProcessor class diagram

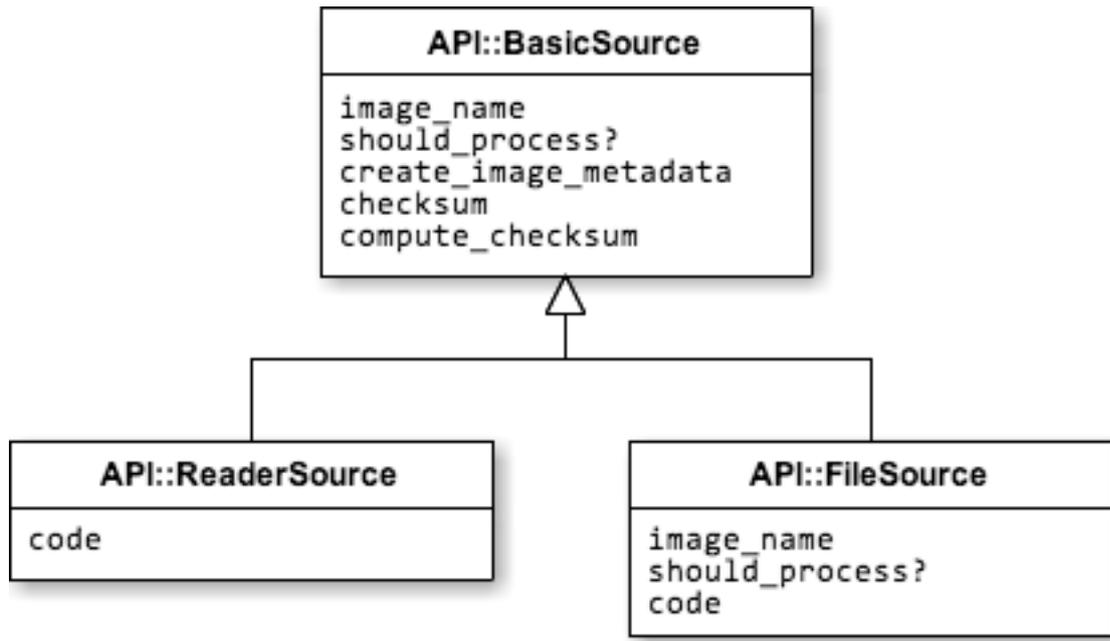


Figure 1.2. Source class diagram

## 1.5. Cacooの図の内容を取得して変更内容をバージョン管理する

AsciiDoc文書内に以下のように書いておくと、Cacooの図の画像を取得する際に、[図の内容取得API](#)<sup>6</sup>を呼び出して図の内容を `cacoo-#{diagramId}-contents.xml` (`#{diagramId}` の部分はそれぞれ置き換えられます) というファイル名で保存するようになります。

```
.....
:cacoo_does_download_contents: true
:cacoo_contents_xml_indent: 0
.....
```

このファイルをバージョン管理しておけば、図をどのように変更したかを後から確認することが出来て、便利です。

`cacoo_contents_xml_indent` はお好みに応じて2や4に設定してもよいでしょう。ただ、差分をシンプルにするには0のほうが良いかもしれません。

<sup>6</sup> [https://cacoo.com/lang/ja/api\\_diagram\\_contents](https://cacoo.com/lang/ja/api_diagram_contents)